

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	30 公園・緑地 一公園を増やし、緑地の保全に努めますー					
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課		都市政策部 公園緑地課				評価責任者	山風呂 敏
関連課		都市計画課				評価日	令和6年6月1日
目標		市民が親しみを持って快適に利用できる公園の配置・整備を計画的に進めるとともに、公園等愛護会をはじめとした市民団体やボランティアと市の協働体制を強化し、公園・緑地の適正な維持管理を行います。					
施策目標の実現に向けた取組		(1) 公園・緑地の整備 ○「ふじみ野市緑の基本計画」に基づき、地域バランスに配慮した公園の整備と市街地の緑化を推進し、緑のネットワーク化を図ります。 ○公園に設置されている遊具などの安全点検を実施し、計画的に改修を行います。 (2) 公園・緑地の維持管理 ○地域住民による公園の管理を進めるために、公園利用を促進するルールづくりや公園等愛護会をはじめとした市民団体・ボランティアの維持管理活動の周知などを通して、担い手の育成を行います。					

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	1人当たりの公園等面積					
		説明	新規の公園整備はなかったが、台帳整備に伴い公園等面積が微増となった。					
		単位	㎡/人					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	成果	目標値	3.60	3.90	4.20	4.50	5.00	5.00
		実績値	3.10	3.40	3.45	3.46	3.47	3.47
	指標2	指標名	公園のリニューアル箇所数					
		説明	公園のリニューアルを7箇所実施し、良好な公園環境を整備することができた。					
		単位	箇所					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動	目標値	4	6	8	10	12	14
		実績値	6	8	12	18	24	31
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	709,052	351,685	323,120	338,527	305,720	370,888
	人件費	26,717	27,923	54,869	61,200	62,924	62,592
収入	特定財源	511,641	104,612	13,253	134,813	50,538	108,639
	一般財源	224,128	274,996	364,736	264,914	318,106	324,841

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	公園・緑地の整備	公園・緑地のリニューアルを計画的に実施する。	なんぼの道、官舎公園、水天宮公園、西八丁緑地、大井弁天の森、宇宙の小路、大原公園においてリニューアルを実施し、良好な公園・緑地の環境整備に寄与することができた。	公園緑地管理事業
取組②	公園・緑地の整備	公園・緑地の施設について、職員や事業者で安全点検を実施し、適正な施設の管理・整備を進める。	安全点検を実施し、施設の安全を確認した。点検結果に基づき、老朽化や不具合が生じている施設については、市民が安全に利用できるよう改修を行った。	公園緑地管理事業
取組③	公園・緑地の維持管理	公園・緑地の清掃や花壇の手入れ等、美化活動を行うことを目的とした愛護会の確保に努め、地域の活性化や緑化の推進を図るとともに、人材育成を行う。	愛護会活動の一つとして、花苗の提供を行い、地域住民と協働で緑化活動を実施した。また、愛護会に対し、市の取組や他団体の活動内容等の情報誌の配布や、市への要望及び各団体の抱えている問題等をアンケートにより把握した。	公園緑地管理事業 緑化推進事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	公園施設の更新については、老朽化や点検結果等を基に優先順位を決め、限られた予算のなかで効率的な更新に努めている。しかし、多くの公園で施設の老朽化が進行しているため、都度優先順位の見直しを行い、また、更新の際は自治組織や愛護会に対し意見を求め、地域の要望を取り入れるよう取り組んでいる。 公園・緑地の維持管理については、職員や委託事業者による除草、樹木剪定及び清掃のほかに、公園等愛護会でも除草、清掃及び花植えなどの美化活動を行ってもらっている。しかしながら、公園等愛護会においては会員の高齢化や担い手の不足などの問題を抱えている団体が多く、市は引き続き補助や支援を行っていくとともに、人材の確保や団体新設の呼びかけを行っていく。 1人当たりの公園等面積については、開発に伴う提供公園の採納による面積増が中心となるため、大きく使いやすく、維持管理性の良い公園を確保できるよう調整を行っていく。 生産緑地については、令和5年度は市報を通じて追加指定の募集を行ったが、申込はなかった。今後も引き続き追加指定について周知を行い、生産緑地の確保に努めていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		公園緑地管理事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	30 公園・緑地 ―公園を増やし、緑地の保全に努めます―		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 03公園費		
所管部課		都市政策部 公園緑地課	評価責任者	高橋 昌巳
事務事業期間		昭和31年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市公園法、都市緑地法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市緑の基本計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	市民だれもが安心して、安全にくつろげる憩いの場である公園・緑地（緑道を含む）を良好な状態に保つため、維持管理を推進する。		
	事務事業の経緯	市内168箇所の公園・緑地（緑道を含む）の維持管理を実施している。		
	事務事業の概要	市内の公園・緑地（緑道を含む）の維持管理（168箇所） 維持管理のため業務委託の実施 都市公園法等に基づく許認可 愛護会による公園・緑地の管理支援 公園緑地等整備工事の実施 大井弁天の森特別緑地保全地区の公有地化		
	令和5年度の主な取組	公園・緑地（緑道を含む）の維持管理を行った。 公園の利用申請受付、許可業務を行った。 公園・緑地愛護会への活動支援を行った。 公園等（なんぼの道、宇宙の小路、水天宮公園、官舎公園、大原公園、西八丁緑地、大井弁天の森）のリニューアルを行った。 大井弁天の森特別緑地保全地区（第2期）について共有名義5人の地権者から用地取得を行った。		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	5.50	6.00	5.90
		人件費	43,808	47,538	46,746
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			43,808	47,538	46,746
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		28,594	39,560	37,815
	委託料		138,180	129,893	168,622
	使用料及び賃借料		6,467	6,389	6,850
	工事請負費		22,333	115,737	230,580
	負担金、補助及び交付金		45	9	218
	扶助費		0	0	0
その他事業費※			53,836	24,145	56,822
支出合計			293,263	363,271	547,653
財源内訳	特定財源	国庫支出金	6,000	5,000	15,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	762	1,009	720
		分担金・負担金	361	524	583
		地方債	10,800	58,300	27,000
		基金	20,085	43,499	166,897
		その他	12,274	50	50
	一般財源		242,981	254,889	337,403
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			2,129	2,233	2,875

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公園のリニューアル箇所数		
	説明	市民にとって安全・安心で快適に利用できる公園を提供するため、公園をリニューアルする（令和5年度までに計14箇所） ※公園リニューアルとは、広場（通路・出入口を含む）、遊具、休憩施設、トイレ、各種設備等の新設（撤去含む）または改修及び樹木の剪定・伐採することを指す		
活動	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	25	27
	実績値	24	31	
指標 2	指標名	1人当たりの公園等面積		
	説明	市民へ快適な生活環境を提供するため、人口1人当たりに占める公園等面積（公園+緑地+緑道）を増やす		
成果	単位	㎡		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5.00	5.00	5.00
	実績値	3.47	3.47	
指標 3	指標名	大井弁天の森用地取得【令和2年度新規指標】		
	説明	花見など市民の憩いの場として親しまれている大井弁天の森を確実に保全していくために、賃貸借契約を締結している私有地（全6箇所）の用地取得を令和3年度から行う。 令和2年度は「大井弁天の森特別緑地保全地区」の整備計画を立ち上げ、都市計画決定の手続きを行う。 令和3年度から令和7年度で用地取得を行う。		
成果	単位	箇所		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	3	4	5
	実績値	3	4	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	点検・修繕・除草・樹木剪定などの維持管理を適切に行い、安全で良好な公園環境の整備に努めた。また、公園等には老朽化した樹木があるため診断等を行い、倒木・枝折れなどの恐れのある樹木に対し早期に対策を施し、事故の未然防止対策を図った。 公園のリニューアルを7箇所実施することができ、良好な公園環境を整備することができた。公園面積については、新規の公園整備は無かったものの台帳作成により面積の確定が出来、若干面積が増えた（約436㎡）。今後も公園面積を減少を極力抑え現状の公園面積を維持していく。 大井弁天の森については、予定どおり共有名義5人の地権者から用地取得を行うことができた。 ・公園面積 … 台帳作成により七彩公園の面積確定の結果増加した。（約436㎡）。 ・公園リニューアル箇所数 7箇所 なんぼの道（舗装・照明灯の改修） 宇宙の小路（舗装の改修） 水天宮公園（遊具更新） 官舎公園（遊具設置） 大原公園（パーゴラ改修） 西八丁緑地（園路の改修・休養施設更新） 大井弁天の森（木柵改修） ・大井弁天の森用地取得「大井弁天の森特別緑地保全地区（第2期）」…共有名義5人の地権者から用地取得 ・遊具撤去数 1基（令和4年度 1基） 、 遊具設置数 2基（令和4年度 1基） 令和5年度は公園における土埃に対する要望が多かったため、遊具の更新が少なくなりました。令和6年度は遊具の更新整備を進めていく。 ・公園利用申請件数 169件（令和4年度 116件） 市主催、共催行事（上福岡七夕まつり、おおい祭り等） 27件（令和4年度 14件） 自治組織等（地区祭り、防災訓練等） 39件（令和4年度 17件） 一般利用（イベント、フリーマーケット等） 103件（令和4年度 85件） ・公園・緑地愛護会数：42団体
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市全体として公園施設が老朽化しており、修繕や更新整備が必要な状況にあることから、本事業の継続が必要である。市民にとって安全安心な公園を提供するためにも、限られた財源の中で計画的かつ効率的に公園の維持管理及びリニューアルを実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		有料公園施設等管理運営事業		前年度の方向性
				継続
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	30 公園・緑地 ー公園を増やし、緑地の保全に努めますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 03公園費		
所管部課		都市政策部 公園緑地課	評価責任者	高橋 昌巳
事務事業期間		平成24年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市公園法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市荒川第2運動公園条例、ふじみ野市びん沼サッカー場条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。また、指定管理者制度の導入により施設の利用率向上を図る。		
	事務事業の経緯	平成24年度から指定管理者において管理運営事業を実施する。		
	事務事業の概要	有料公園施設等（ふじみ野市運動公園、ふじみ野市第2運動公園、荒川運動公園（管理棟含む）、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場）の管理運営を指定管理者が一括して行うものを指導監督する。 市は指定管理者に管理運営業務を発注する。		
	令和5年度の主な取組	指定管理者と連携し、ふじみ野市運動公園をはじめとする有料公園施設等の管理・運営を実施した。令和元年度、ふじみ野市第2運動公園の多目的球場が完成したことから有料公園施設の全ての施設がオープンとなり、また令和2年度にはふじみ野市運動公園拡張部に子ども広場が完成したことから、全ての施設が完成しフルオープンという形で施設の管理・運営業務を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00	1.00
		人件費	7,965	7,923	7,923
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			7,965	7,923	7,923
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		1,199	901	1,600
	委託料		50,264	51,265	52,673
	使用料及び賃借料		2,146	1,989	1,989
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		16	16	16
	扶助費		0	0	0
その他事業費※			1,831	90	2,328
支出合計			63,421	62,184	66,529
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	120	120	120
		分担金・負担金	136	137	120
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		63,165	61,927	66,289
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			553	542	565

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	有料公園施設の利用率の向上【令和2年度新規指標】		
	説明	有料公園施設（ふじみ野市運動公園、ふじみ野市第2運動公園、荒川運動公園、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場）の利用率について令和6年度の利用率35.0%を目指す。 利用率（%）＝利用コマ数÷総利用可能コマ数×100 【参考：令和元年度32.9%（実績値）】		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	34.20	40.00	35.00
	実績値	40.90	38.70	
指標 2	指標名	利用者満足度調査の満足度【令和2年度新規指標】		
	説明	指定管理者が毎年度行う満足度調査の総合満足度において、有料公園施設の「満足」「やや満足」の満足度を95%以上確保する。 【参考：令和元年度100%（実績値）】		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	95	95	95
	実績値	95	94	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	指定管理者による管理運営業務により、有料公園施設の利用率向上を図った。結果的には、施設全体の利用率は38.7%となり昨年度より2.2ポイント減少した。この原因は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引下げられたことに伴い、利用者の方々が他の行楽地等への外出が多くなったため、利用率が下がったと推測する。今後は、下がった利用率の回復に努めていく。		
	・利用率（ ）内は令和4年度実績 ふじみ野市運動公園 野球場 42.4%（48.5%） テニスコート 62.2%（67.9%） フットサルコート 32.5%（34.1%） ふじみ野市第2運動公園 アリーナ 72.7%（75.1%） 卓球場 29.4%（29.8%） 剣道場 27.6%（28.7%） 柔道場 25.1%（27.6%） 多目的球場 26.0%（27.7%） 荒川運動公園 14.0%（17.6%） 荒川第2運動公園 21.2%（22.5%） びん沼サッカー場 27.3%（30.8%） 【全体】 38.7%（40.9%） ・利用者満足度調査について、指定管理者を導入したことにより細かい管理運営ができるようになったため、指定管理者と利用者とのコミュニケーションも密になり、苦情・要望等についても迅速に対応できるようになった。アンケート調査は残念ながら満足度が94%という結果となり、目標値に達することが出来なかった。アンケートの分析結果から不満という意見の原因は、「予約やキャンセルの手続き」が多くを占めており、4月から運用される新予約システムにより解消が図られると思われる。今後もご意見・ご要望を頂いたことに対してできる限り実現できるように努め、目標値の満足度95%以上を目指していく。		

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	「元気・健康都市宣言」により市民の健康増進への意識が高まっており、市民の運動施設への要求も高くなってきている。このような状況の中、指定管理者制度を導入することによってより細かいサービスの提供を行う必要があるため、本事業の継続が必要である。令和元年度、ふじみ野市第2運動公園の整備が完了し、令和2年度にはふじみ野市運動公園拡張部に子ども広場が整備され、完成形としてフルオープンしたことから、大人から子供まで楽しめる公園となったため、更なる利用率向上について取り組んでいく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		緑化推進事業	前年度の方向性		
			継続		
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	30 公園・緑地 ー公園を増やし、緑地の保全に努めますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 04緑化推進費			
所管部課		都市政策部 公園緑地課	評価責任者	高橋 昌巳	
事務事業期間		昭和49年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		生産緑地法、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市生産緑地地区の区域の規模に関する条例、ふじみ野市緑の基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	市内に残されている緑の保全・保護及び開発行為に伴う緑化の推進及び啓発。 生産緑地地区の適正な管理。			
	事務事業の経緯	旧上福岡市では保存樹木の指定を旧大井町では保存樹木の指定と緑地保護地区の指定を実施してきたが、合併後はふじみ野市みどりの条例により事務事業を実施している。 平成4年に指定された旧上福岡地区の生産緑地地区と平成20年に指定された旧大井地区の生産緑地地区を適正に管理できるよう行政手続き等を行っている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市みどりの条例に基づき、市街地の中に残された屋敷林や一団の雑木林、貴重な樹木を計画的に保護・維持するために、緑地保護地区や保存樹木の指定を行い、管理協定を締結することにより、環境と共生するまちづくりを進める。 生産緑地地区について、追加の指定及び既存地区指定の解除、特定生産緑地の指定に関する業務を行う。			
	令和5年度の主な取組	緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し管理料を交付した。 緑地保護地区と保存樹木の登録件数は年々減少傾向にあることから、ホームページにて追加募集を行った。 生産緑地地区の追加募集を市報やホームページにより行った。 生産緑地地区において主たる従事者の事故等により、指定解除の手続きを行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.40	0.90	1.00
		人件費	11,151	7,131	7,923
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			11,151	7,131	7,923
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		7	58	115
	委託料		220	261	557
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		408	392	519
	扶助費		0	0	0
その他事業費※			174	184	198
支出合計			11,960	8,026	9,312
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		11,960	8,026	9,312
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			105	70	79

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	緑地保護地区の面積		
	説明	街の都市化や相続時の売却により年々減少してる緑地保護地区を維持する。 令和5年度の実績において緑地保護地区の面積が108,673㎡であり、面積の減少がなかったため、令和6年度の目標値も108,673㎡を維持する。		
成果	単位	㎡		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	110,811	108,673	108,673
	実績値	108,673	108,673	
指標 2	指標名	保存樹木数		
	説明	街の都市化や樹木の老朽化等により年々減少している保存樹木を維持する。 令和5年度の実績において保存樹木の本数が102本であったため、令和6年度の目標値を見直し、107本から100本に変更する。		
成果	単位	本		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	118	107	100
	実績値	108	102	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し、管理料を交付し、既存緑の保全を図った。 ・緑地保護地区管理料交付金 208,558円（令和5年度支払額） ・保存樹木管理料交付金 153,000円（令和5年度支払額） 緑地保護地区は、相続発生時の売却等があり、保存樹木は、樹木の老朽化や近隣住民からの苦情等により土地所有者が樹木を伐採せざるを得ない状況になったため、年々減少していることから、市のホームページにて制度の説明及び新規募集を行った。これらの制度は、市から交付している管理料だけでは十分な管理ができないという課題があるため、どのようにしたら減少を食い止めることができ、適正な維持管理を行ってもらえるかを検討する必要があると考えている。 生産緑地地区に関する業務について、新規の生産緑地地区への指定はなく、主たる従事者の死亡や事故等により解除をした地区が4地区、面積が減少した地区が1地区あり、都市計画審議会へ諮問し都市計画の変更を行った。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	緑地保護地区や保存樹木等の緑を維持し残していくことは、緑の基本計画における市民アンケートでも緑の質や量についての要望は高い。また、生産緑地地区に関する業務については、引続き生産緑地地区の変更・廃止・追加指定を行う必要があるため、今後も本事業の継続が必要である。
中長期的方向性	
継続	